

事業シート(令和6年度決算)

事業名	41400 救急医療対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人々への投資	根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	4	衛生費			ポイント	(1)	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり		
					項	1	保健衛生費		政策分野	1	福祉・医療・保健	市長公約		
					目	4	地域医療対策費		施策分野	(5)	医療・保険			
担当課	医療保健部	医療政策課	内線	2802										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民が休日夜間に急病になった時に受診できる医療体制を整え、安心して暮らせるようにする。	概要	・休日診療所の開設(日・祝・年末年始、医科及び歯科) ・在宅当番医制・病院群輪番制病院(久美愛厚生病院、飛騨市民病院)への運営費の補助 ・救命救急センター(高山赤十字病院)への運営費等の助成 ・24時間電話医療相談の実施、「救急安心センターぎふ」の利用勧奨などによる適正な救急医療受診の啓発
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じている市民の割合	53.7%	54.5%	ノ

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		100,903	98,254	101,271	102,700	102,024	3,770
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他(休日診療所使用料、保健衛生費受託事業収入等)	35,083	34,574	34,274	34,274	32,082	△ 2,492
一般財源		65,820	63,680	66,997	68,426	69,942	6,262
新規・拡充	主な事業内容						
	休日診療所の運営	16,165	16,155	16,390	17,819	17,412	1,257
	24時間電話医療相談	1,620	1,610	1,620	1,620	1,610	0
	在宅当番医制・病院群輪番制病院運営費助成	42,149	39,868	41,977	41,977	41,751	1,883
	救命救急センター運営費等助成	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	0
	救急安心センター運営負担金	840	514	1,152	1,152	1,145	631

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・休日診療所開設状況 医科(70日開設) 利用者数:942人 歯科(53日開設) 利用者数:108人 ・救急医療機関(二次・三次)運営に対する助成 ・#7119救急安心センターぎふ電話相談件数 243件(10月1日～開始) ・24時間電話医療相談の相談利用数 3,010件
評価等	・休日診療所の開設により、市内中核病院の救急外来の負担軽減を図ることができた。 ・24時間電話医療相談事業の継続および#7119救急安心センターぎふの開設により、市民の健康不安の解消を支援し、救急医療の適正利用の普及を継続して実施することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・救急医療の確保および適正利用の普及を継続して実施する。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・休日診療所開設状況 医科(70日開設) 利用者数:978人 歯科(53日開設) 利用者数:108人 ・救急医療機関(二次・三次)運営に対する助成 ・#7119救急安心センターぎふ電話相談件数 514件 ・24時間電話医療相談の相談利用数 2,773件
評価等	・休日診療所の開設により、市内中核病院の救急外来の負担軽減を図ることができた。 ・24時間電話医療相談事業および#7119救急安心センターぎふの実施により、市民の健康不安の解消を支援し、救急医療の適正利用の普及を継続して実施することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定 ・救急医療の確保および適正利用の普及を継続して実施する。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	101,811
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
101,746	101,811	101,811	540
35,554	35,554	35,554	1,280
66,192	66,257	66,257	△ 740
査定額	説明		
16,865			
1,620			
42,048			
40,000			
1,093			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・安心、安全な市民生活の維持のため、市内の医療機関等に一次から三次の救急医療体制を構築するための予算を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	41410 医療確保等支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人々への投資	根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	4	衛生費			ポイント	(1)	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり		
					項	1	保健衛生費		分野別	政策分野	1	福祉・医療・保健	市長公約	
					目	4	地域医療対策費			施策分野	(5)	医療・保険		
担当課	医療保健部	医療政策課	内線	2802										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民が良質で適正な医療サービスを受けることができるよう医療体制の確保と充実を図る。	概要	・市内中核病院の医学生から指導医までに対する切れ目のない支援、就労・医療環境の整備、診療機能の維持等に対する助成
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じている市民の割合	53.7%	54.5%	♪

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		217,555	197,914	257,855	364,426	350,539	152,625
特定財源	国費 (医療機関等運営支援事業費 10/10、デジタル田園都市国家構想交付金1/2)	15,900	14,477	0	53,000	52,935	38,458
	県費 (地域医療確保事業費 1/2)	6,335	4,988	17,690	17,690	15,376	10,388
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、寄附金)	24,000	24,000	33,000	33,000	52,200	28,200
一般財源		171,320	154,449	207,165	260,736	230,028	75,579
新規・拡充	主な事業内容						
	医師確保及び教育支援等に対する助成	159,014	152,865	160,390	159,282	153,112	247
○ 1	病院設備整備に対する助成	20,000	19,845	58,665	58,665	55,453	35,608
	医療機関等光熱費高騰対策支援金	15,900	14,580				△ 14,580
	ICTを活用した医療DX推進事業	10,000	0		108,000	105,870	105,870
	医師育成支援補助金(医学生から中堅までの継続育成)	7,400	7,226	2,740	2,740	2,440	△ 4,786
○ 2	中核病院との医療人材教育に関する連携の強化			30,000	30,000	30,000	30,000

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・市内中核病院の医師確保や医療機器整備等に対する助成 ・岐阜大学医学部「地域医療コース」在校生5名、新入生2名の修学資金を支援 ・飛騨医療圏の医療体制を安定的に維持するため、市内2か所の中核病院と3者連携協定を締結 ・コロナ禍における原油価格、電気料金の高騰により施設の運営に影響を受ける医療機関等の負担を軽減し、良質なサービスを継続できるよう、光熱費の高騰分について支援(173施設) ・地域医療者教育寄附講座(岐阜大学)開設準備を実施	
評価等	・市民が安心して地域医療を受けられる環境整備に寄与した。 ・「地域医療コース」は将来の医師確保へ向けて効果が期待できる施策であることから、今後もより多くの学生への利用促進を図る。 ・研修医確保を目的とした2会場のガイダンスへ、市内2か所の中核病院と連携して出展できた。 ・医療機関の光熱費高騰支援により、負担の軽減と運営の安定が図られ、市内の医療提供体制を維持することができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・市内中核病院の医療体制の支援については、ヒアリング等を実施しながら、実態に応じた助成を行う。 ・将来の医師確保へ向けて、引き続き「地域医療コース」の新規入学生及び在校生の修学を支援する。 ・大学医学部と締結した協定等に基づき、市内医療機関をフィールドとした医学生の実習やセミナーの開催を支援し、将来の定着を目指した人材育成をすすめる。 ・地域医療者教育寄附講座(岐阜大学)を実施する。	☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・市内中核病院の医師確保や医療機器整備等に対する助成 ・岐阜大学医学部「地域医療コース」在校生7名、新入生2名の修学資金を支援 ・飛騨医療圏の医療体制を安定的に維持するため、市内2か所の中核病院と3者連携協定を締結 ・地域医療者教育寄附講座(岐阜大学)を開設 ・市内中核病院と高度医療機関をつなぎ、遠隔により手術支援や医療教育を受けられる環境を整備	
評価等	・市民が安心して地域医療を受けられる環境整備に寄与した。 ・「地域医療コース」は将来の医師確保へ向けて効果が期待できる施策であることから、今後もより多くの学生への利用促進を図る。 ・研修医確保を目的とした2会場のガイダンスへ、市内2か所の中核病院と連携して出展できた。 ・飛騨で唯一のPET-CT装置(がんの転移の状況等を診断する際に必要な検査機器)の更新により、診療がスムーズに行えるようになった。 ・市内中核病院及び岐阜大学等に医療情報共有システムや遠隔手術支援システムを導入支援したことで、高度医療機関との連携が図られ、市内病院で診療を完結させる一助となった。	
次年度以降の考え方(担当課)	・市内中核病院の医療体制の支援については、ヒアリング等を実施しながら、実態に応じた助成を行う。 ・将来の医師確保へ向けて、引き続き「地域医療コース」の新規入学生及び在校生の修学を支援する。 ・大学医学部と締結した協定等に基づき、市内医療機関をフィールドとした医学生の実習やセミナーの開催を支援し、将来の定着を目指した人材育成をすすめる。 ・地域医療者教育寄附講座(岐阜大学)を実施する。	☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	263,453
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
334,999	263,453	263,453	5,598
17,443	17,410	17,410	△ 280
		10,000	△ 23,000
317,556	246,043	236,043	28,878
査定額	説明		
166,890			
58,493	手術支援ロボット導入に対する助成ほか		
2,530			
30,000	地域医療者教育寄附講座(岐阜大学)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・3者医療連携協定に基づいた医療人材育成の環境整備や医療DXの推進等、地域医療提供体制の安定を図るために必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・手術支援ロボット導入に対する助成について積算内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	41410 医療確保等支援事業費	区分	☒ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	医療政策課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	2	総務費		
枝番・内容	1 病院設備整備に対する助成		☐ その他重要事業			項	1	総務管理費	内線	2802
			☐			目	9	企画費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・飛騨圏域には唯一、久美愛厚生病院にのみ整備されているPET-CT装置(がんの転移の状況等を診断する際に必要な検査機器)について、老朽化に伴う新たな機器への更新に対し、その費用を飛騨圏域の3市1村で支援するもの。	概要	・現在使用している機器は平成24年度(新築移転時)に導入したアナログ式のもので、経年劣化により故障の頻度が増加。 ・保守部品の提供が受けられず、令和5年度中にメンテナンス対応期間が終了する。全体ではより検査時間が短いデジタル式が7割まで普及している。 ・飛騨圏域で唯一の機器であり、年間約600件の利用の内、約45%が他の医療機関から依頼を受けたもので、当機器の存在への期待は高い。 ・がん診療等の治療目的の利用の他に、人間ドックでの利用が8%ある。 ・機器の更新には3億円近くを要し、県の補助金を受けても久美愛厚生病院への負担が大きいことから、3市1村での支援の要望があったもの。
----	--	----	---

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点

(千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点

(千円)

予算額	当初	38,665
主な経費	・病院設備整備費補助金	
対前年度増減額(当初予算)		38,665

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点

(千円)

予算額	当初	38,665
	繰越	
	補正等	
	最終	38,665
決算額		38,665
対前年度増減額(決算)		38,665

R7当初予算(Action)

(千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善
		☐ 拡大
		☐ 縮小
		☐ 廃止検討
		☐ R5完了
		☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・病院において購入手続き ・補助申請の受付、交付決定 ・整備状況の確認、交付 ・定期的な機器活用状況の把握	
[スケジュール]	
・R6.5月 病院において購入手続き(予定) ・ " 補助申請の受付、交付決定 ・R6年度中 PET-CT装置納品 ・納品後 補助金交付	

事業実績、評価等		
[事業実績]		
・PET-CT1台の導入に対する助成		
[評価等]		
・飛騨で唯一のPET-CT装置(がんの転移の状況等を診断する際に必要な検査機器)の更新により、診療がスムーズに行えるようになった。 ・引き続き市民は市内医療機関での診療が可能となり、市民サービスの維持が図られた。		
次年度以降 の考え方 (担当課)	・令和6年度事業完了	☐ 維持・改善
		☐ 拡大
		☐ 縮小
		☐ 廃止検討
		☒ R6完了
		☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	41410 医療確保等支援事業費	区分	☒ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	医療政策課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	2	総務費		
枝番・内容	2 中核病院との医療人材教育に関する連携の強化		☐ その他重要事業			項	1	総務管理費		
			☐			目	9	企画費		
									内線	2802
									作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・医療系大学がない市内および飛騨圏域において、研修医や若手医療従事者、将来のこの地域の医療を担う医学生や高校生等が、継続的かつ体系的に最新の医療教育を受けられる機会を確保する。	概要	・研修医や若手医療従事者等の教育と研究、臨床に従事する医師を、市内の中核病院等に派遣する仕組みづくり。 ・市内の中核病院での研修や診療の質の向上を図ることができ、それをきっかけに若手医師が集まる地域を目指すことが可能となる。 ・市が目指す医療DXの推進へのアドバースを受けることができ、取り組みのスピードアップを図ることができる。 ・小中高校生等が、幼少期から医療に触れ、学ぶことができる環境整備に繋がる。
----	--	----	--

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点

(千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点

(千円)

予算額	当初	30,000
主な経費	・地域医療者教育寄附講座(岐阜大学)開設費寄附金	
対前年度増減額(当初予算)		30,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点

(千円)

予算額	当初	30,000
	繰越	
	補正等	
	最終	30,000
決算額		30,000
対前年度増減額(決算)		30,000

R7当初予算(Action)

(千円)

予算額	当初	30,000
主な経費	・地域医療者教育寄附講座(岐阜大学)開設費寄附金	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・地域医療者教育寄附講座の開設 ・岐阜大学より派遣される2名の専門的な指導医による講座を市内の中核病院等(高山赤十字病院・久美愛厚生病院・国保診療所)にて実施 ・各病院との定期的な連絡会議の開催 ・市民公開講座	
[スケジュール]	
・R6.4月 地域医療者教育寄附講座の開設 ・ " 以降 市内の中核病院にて、2名の専門的な指導医による講義 ・ " 症例検討会及び勉強会の開催 ・ " 市民公開講座	

事業実績、評価等		
[事業実績]		
・市内中核病院における研修医、専攻医の指導 ・市民公開講座 3回 ・飛騨メディカルハイスクールでの講座 2回 ・学会発表、講演		
[評価等]		
・高山市の地域住民が安定的に医療供給を受けられる体制構築を図り、将来を見据えた計画的な医療人材の育成という喫緊の課題解決に寄与することができた。		
次年度以降の考え方(担当課)	・令和10年度までの債務負担 ・小中学生向けの医療教育を新たに実施	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・岐阜大学より派遣される2名の専門的な指導医による講座を市内の中核病院等(高山赤十字病院・久美愛厚生病院・国保診療所)にて実施 ・各病院との定期的な連絡会議の開催 ・市民公開講座 ・小中学生向けの医療教育	
[スケジュール]	
・R7.4月以降 市内の中核病院にて、2名の専門的な指導医による講義 ・ " 症例検討会及び勉強会の開催 ・ " 市民公開講座、小中学生向け医療教育	